



東南アジアの環境破壊と 食卓のゆくえ

東南アジアの多くの国々では、経済発展にともなって生態系が劣化して、食料の供給、食品の安全性、さらには人々の健康がしばしば脅かされています。環境問題と食料問題とは密接につながっているのです。そこで私たちは両者の関係に注目して、フィリピンの首都マニラ近郊に位置するラグナ湖の集水域を主な対象として「食のリスク」について実証研究を行っています。異常気象、都市化・工業化の進展、土地改変などの環境変化によって、人々の食生活や健康にどのような影響がみられるのでしょうか。どうすれば食の安全・安心を確かなものにできるのでしょうか。皆さんと一緒に考えたいと思います。

講師

嘉田 良平 KADA Ryohei
(地球研教授)

聞き手

鞍田 崇 KURATA Takashi
(地球研特任准教授)

2012. **6/22** (金)

16:00 ~ 17:30 (15:30受付開始)

場所 地球研講演室

定員 100名 (申込先着順)

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

主催 総合地球環境学研究所

後援 京都府

—交通案内—

<叡山電鉄鞍馬線をご利用の場合>

「京都精華大学前」又は「二軒茶屋」駅から徒歩約10分

<地下鉄とバスをご利用の場合>

地下鉄烏丸線「国際会館」駅から京都バス40系統または50系統に乗車し、「地球研前」下車



お問い合わせ
メール・お電話・FAXにて
右記までお申し込み下さい

総合地球環境学研究所 総務課企画室

TEL (075)-707-2173 FAX (075)-707-2106

E-mail shimin-seminar@chikyu.ac.jp URL <http://www.chikyu.ac.jp>

聴講無料